

NEWSLETTER



No. 1

日本動物行動学会事務局

日本動物行動学会の設立を祝して乾杯！
 (第1回大会懇親会より、1982年12月10日)

目次

まずはりっぱな学会誌を	2	学会誌投稿規定	4
会長、運営委員選挙結果報告	2	第2回大会案内	8
国際動物行動学会設立について	2	会員の異動	10
第1回運営委員会報告	3	事務局から	10

まずはりっぱな学会誌を

日本動物行動学会会長

日 高 敏 隆

6月も半ばとなり、それぞれ研究にお忙しいことと思います。

3月20日の運営委員会で、別紙のとおりのことがきまりました。とくにもっとも重要なしごとの一つである学会誌（Journal of Ethology）に関しては、編集委員もきまり、投稿規定もできました。これに従って、おもしろい論文をどんどん投稿して下さい。

今年は Vol. 1, Nos. 1 - 2 合併号を、10月末には出す予定です。

8月末から9月初めにかけて国際動物行動学会議（I. E. C.）が開かれますが、そこでも大いに宣伝するつもりです。ボリュームは多少すくなくとも、内容としては従来の雑誌を超えた国際誌にしてゆきたいものです。

英文学会誌発行とならんで、会員の方々をはじめ、一般向けの興味ふかい講演会・映画会などを随時おこなってゆくことも考えていますが、第1年目はとにかく立派な学会誌を出すことが急務だと思っています。

選 挙 結 果 報 告

12月9日採択された会則、および選舉規定に従って1983.84年度の会長・運営委員選舉が行なわれ、次の方々が選出されました。

会長 投票総数 247票 (白票2)

日高 敏隆 (222) **当選**

杉山 幸丸 (3) 川那部浩哉 (3)

以下省略

運営委員 投票総数 2070 (白票358無効15)

伊藤 嘉昭 (100) 川那部浩哉 (83)

杉山 幸丸 (82) 伊谷純一郎 (80)

川道 武男 (64) 今福 道夫 (61)

朝日 稔 (53) ※正木 進三 (49)

西田 利貞 (47) 城田 安幸 (43)

※ 小原 嘉明 (43)

以上当選

奥井 一満 (39) 山岸 哲 (37)

以下省略

※正木進三氏辞退のため、次点の小原嘉明氏がくり上げ当選となりました。（P.3参照）

~~~~~

## 国際動物行動学会（I. E. S.）設立について

国際動物行動学委員会（International Ethological Committee）は、国際動物行動学会議（International Ethological Conference）をもっと正式な学会に組織することを検討していましたが、いよいよ今年のブリスベーンでの会合で最終決定することになりました。

送られてきた会則案によると、学会の名称は国際動物行動学会（International Ethological Society, I. E. S.），あらゆるレベルについて自然条件・実験条件における記載的・実験的手法による探究を含むもっと広い意味での動物行動研究の推進を目的とする、とあります。

正式に発足したらまたお知らせしますが、会則案によると、国内に対応する学会がある場合、I. E. S. 会員の会費はその国内学会を通じて集めることになっておりますので、日本はこれに該当します。ただし、会費の額は会則（付則）案には記入されていません。

〔日高〕

## 第1回運営委員会報告

第1回運営委員会が1983年3月20日、京都大学理学部動物学教室において開かれ、下記諸事項の確認・決定などが行われました。

出席者：朝日稔、伊谷純一郎、伊藤嘉昭、今福道夫、川那部浩哉、川道武男、西田利貞、日高敏隆（報告のみ石井実）

欠席者：城田安幸、杉山幸丸、正木進三

### 1. 運営委員の確定について

正木進三氏の辞任の申し出を認め、次点者小原嘉明氏を運営委員とすることを確認した。

### 2. 諸 報 告

設立準備委員石井実より会員数、会計、大会決算についての報告が行われた。（別表参照）

### 3. 副会長選出

副会長は、運営委員（会長を除く）の単記無記名投票による互選の結果、伊藤嘉昭氏に決定された。

### 4. 事務局の設置※

事務局は京都大学理学部動物学教室内におき、庶務、学会誌、会計、会員の4つの係をおくことにして、人選は会長に一任された。なお、事務局長には今福道夫が決った。

### 5. 会計監査の指名

会計監査を、笛川満廣（京都府大）、川崎広吉（同志社大）両氏に委嘱することにした。

### 6. 学会誌編集委員会の設置

編集の基本方針について議論の結果、次のことで合意をみた。

- 英文誌とする。
- 内容は Ethology とその周辺分野をカバーするものとする。
- 誌名は Journal of Ethology 。
- 各号は100ページ程度とし、財政が許すかぎり、最大限活版印刷としたい。
- 編集委員長には当面日高敏隆があたる。
- 編集委員は運営委員会で選び、会長が委嘱する。
- 編集委員はレフェリーもかねるが、隨時委員外にもレフェリーをお願いする。
- 以上の基本方針にもとづいて編集委員として次の七名を選んだ。

小原嘉明、川道武男、坂上昭一、Jack

Moyer、椿宜高、西田利貞、山岸哲

◦ 編集事務は事務局の学会誌係が行う。

◦ 投稿規定、スタイルについては日高と川道が相談して決める。

◦ 第1号発行の時期は10月末日くらいとし、手持ち原稿等について検討して、さらにすぐれた論文を集めることにした。

### 7. 次期大会について

◦ 開催地：京都、 時期：11月中旬～12月

◦ 大会は運営委員会と別に設置した大会準備委員会が行い、独立会計とする。

◦ 大会の運営方式は基本的には準備委員会に一任することとした。

◦ 形式について意見交換を行った。

※事務局（事務局長 今福道夫）

石井実（庶務）、今福道夫、百瀬浩（学会誌）、藤井恒（会計）、近雅博（会員）

### 会計報告（3月20日現在）

| 収入               | 支出            |
|------------------|---------------|
| 一般会員 1,613,000円  | 印刷費 242,970円  |
| 学生会員 558,000円    | 通信費 141,400円  |
| 団体会員 32,000円     | 文具費 36,679円   |
|                  | 雑 費 4,849円    |
| 収入合計 2,203,000円  | 支出合計 425,898円 |
| ○差引残高 1,777,102円 |               |

### 第1回大会決算 大会参加者 327名（うち 当日参加 162名）

|    |                          |            |
|----|--------------------------|------------|
| 収入 | 大会参加費 (1,500×327)        | 490,500円   |
|    | 大会賛助金 (平凡社)              | 20,000円    |
|    | 寄付 (ニューヘルス社)             | 5,000円     |
|    | 懇親会費 (3,000×198)         | 594,000円   |
|    | 懇親会費遅納金 (500×103)        | 51,500円    |
|    | 雑収入                      | 400円       |
|    | 計                        | 1,161,400円 |
| 支出 | 事務費                      | 11,075円    |
|    | 通信費                      | 112,070円   |
|    | 印刷費 (プログラム 準備会ニュースNo.3等) | 273,290円   |
|    | 大会費                      | 97,940円    |
|    | 懇親会費                     | 507,860円   |
|    | パーティー費                   | 81,353円    |
|    | 第2回大会への繰越金               | 77,812円    |
|    | 計                        | 1,161,400円 |

## 学 会 誌 投 稿 規 定

3月20日の第1回運営委員会で、学会誌 *Journal of Ethology* の投稿規定の試案を川道と日高が作ることになりました。第1次試案を編集委員と運営委員に送って意見をきき、その上で作った第2案について再び意見を聞いて、最終的に以下のように決定しました。実際に学会誌が発行されますと、いろいろと訂正の必要が生じると思いますが、とりあえずこの規定でこの10月には第1, 2号(合併号)を出したいと思います。10編ほど収録する予定です。この投稿規定に従って、ふるって投稿して下さるようお願いいたします。第1, 2号の投稿受付〆切は7月末日です。原稿はコピー2部をそえて「〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学理学部動物学教室内 日本動物行動学会 学会誌編集委員長 日高敏隆」宛送付下さい。

念のため、基本的な点を下記にまとめておきます。

## - 記 -

- (1) E T H O L O G Y とその周辺の研究報告を出版する。
- (2) 出版は年1 volume; 2冊 (Nos. 1 + 2), 1冊100頁程度とする。(vol 1. 及び原稿の少ない年は、No 1と2の合併号とする。)
- (3) 言語は本文、要約とも英語のみとする。

- (4) 雑誌は Article と Short Communication が主となる。Article は20印刷頁以内、Short Communication は、3印刷頁以内とし、これを超える分については超過料金を徴収する(金額未定)。
  - (5) 他に Book Review と Comment を受け付ける。
  - (6) 別刷はすべて有料とする。学会が設けた基準にもとづいた別刷代は、校正時に著者へ reprint order form で通知し、50部単位の別刷希望を受け付ける。
  - (7) 投稿は会員・非会員を問わない。ただし、非会員の投稿には掲載料を徴収する(金額未定)。
  - (8) 原図は印刷後、著者に返却する。
  - (9) 投稿原稿第1頁目には、タイトル、著者、所属、原稿枚数、図表の枚数を書く。さらに、論文の採否通知などの連絡のためと、校正刷を受け取る住所、氏名を日本語で書いてもらう。
  - (10) 郵送料軽減のため、ゲラ刷を送る際にタイプ原稿は送らない。原図は accept されてから送つてもらう。
- 〔日高〕

なお、*Journal of Ethology* の表紙のデザインを募集しています。ナウいアイデアを事務局宛お寄せ下さい。〆切は7月末日とします。

## INSTRUCTIONS TO AUTHORS

*Journal of Ethology* is an official publication of the Japan Ethological Society. The journal publishes reports of original research in English on all phases of ethology. Publication in the journal is open to any person, regardless of membership status. Original research is reported in Articles, which do not exceed 20 printed pages, and in Short Communications, of 3 pages or less. A charge of ¥ xxxx per extra printed page will be made to authors if the papers exceed these limits of page length. Non-member authors are required to contribute to the costs of publication (¥ xxxx per manuscript).

Book reviews and comments are also welcomed.

All type-written manuscripts must be double-spaced (preferably with pica type) on paper 21.5 X 28 cm or size A4 with 3-cm margins on all sides. Do not hyphenate words at the right margin. Avoid foot notes. A cover page should contain the title, author's name(s), academic address, present address if it differs from the byline address, total text pages, and numbers of tables and figures. The cover page should also include the name and full address(in Japanese or English) of the person who is responsible to receive editorial correspondence.

An article should be arranged from the second page in the following order: abstract (100 to 200 words in the form of a single paragraph), introduction, study area (if necessary), methods, results, discussion, acknowledgments, and references. Number text pages through references; include tables and legends for figures on separate, unnumbered pages. Abstracts, table headings, and legends for figures should be completely self-explanatory. Abstracts are not used for Short Communications. Recent issues of the journal should be consulted for details of style, headings, and references.

The scientific name should be underlined and given in the abstract and in the article. Numbers should be written in numerical form, except at the beginning of a sentence. Metric units should be used in all measurements. The following abbreviations should be used in the text: m(meter), g(gram), s(second), min(minute), h(hour), ha(hectare), l(liter), °C(centigrade), Hz(Hertz), P(probability), SD(standard deviation), and SE(standard error). Also, mm, cm, km, kg, and kHz should be used. A percent sign(%) should be used in the text following numerals.

Tables and illustrations should be designed for a double-column format. Illustrations will be reduced to either 7 or 14 cm in width. The author's name and figure number should be written on the back of original illustrations and on the surface of

copies. Each table with a heading should be typed on a separate sheet. Positions of tables and figures in the text should be indicated in the left margin.

Submit the original plus two good copies of the text and tables, and three copies of illustrations. Keep one extra set of copies. The author should retain the original illustrations until the manuscript has been accepted for publication. All manuscripts for publication should be sent to the Editor, T. Hidaka, Department of Zoology, Kyoto University, Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan.

Judgments as to acceptability of the paper and suggestions for improving the manuscript are sent to the author. If the paper is tentatively accepted, the author should send the revised manuscript and two good copies to the Editor.

A galley proof and a reprint order form will be sent to the author. The type-written manuscript is not returned to the author. The corrected proof should be returned to the Editor by the fastest mail within three days of receipt. The original illustrations are returned to the author after publication. Reprints may be purchased. Cost of charge is indicated on the reprint order form.

---

The following examples are not included in INSTRUCTIONS TO AUTHORS given above:

References in alphabetical order;

Fogden, M. 1974 A preliminary field-study of the western tarsier, Tarsius bancanus. In: Prosimian biology (ed. by R. D. Martin, G. A. Doyle & A. C. Walker) pp.151-165. Gerald Duckworth, London.

Kawamichi, T. & M. Kawamichi 1978 Spatial organization and territory of tree shrews (Tupaia glis). Anim. Behav. 27:381-393.

Wilson, E. O. 1975 Sociobiology. Harvard Univ. Press, Cambridge, 697pp.

Citation in the text;

Jolly (1966)

(Jolly 1966; Martin et al. 1974; Tattersal & Sussman 1975;  
Kawamichi 1976, 1981) in chronological order

## JAPAN ETHOLOGICAL SOCIETY

(FOUNDED DECEMBER 1982)

Officers and Council for 1983 - 1984

President: T. HIDAKA, Department of Zoology, Kyoto University,  
Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan

Vice-President: Y. ITŌ, Laboratory of Applied Entomology and  
Nematology, Nagoya University, Chikusa-ku, Nagoya 464, Japan

Secretary: M. IMAFUKU, Department of Zoology, Kyoto University,  
Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan

Council Members: M. ASAHI, M. IMAFUKU, J. ITANI, Y. ITŌ,  
T. KAWAMICHI, H. KAWANABE, T. NISHIDA, Y. OBARA, Y. SHIROTA,  
Y. SUGIYAMA

Editor: T. HIDAKA, Department of Zoology, Kyoto University,  
Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan

Editorial Board: T. KAWAMICHI, J. MOYER, T. NISHIDA, Y. OBARA,  
S. F. SAKAGAMI, Y. TSUBAKI, S. YAMAGISHI

JOURNAL OF ETHOLOGY (ISSN #) is published twice a year by the Japan Ethological Society. Any person interested in ethology may become a member of the Society on payment of dues. Dues are: regular members, ¥5,000 per year, and student/unemployed members, ¥3,000 per year. Add ¥3,000 for overseas addresses. Members of all classes receive JOURNAL OF ETHOLOGY.

Send payment for dues, changes of address, or requests for information concerning subscription, available back issues, or membership to M. IMAFUKU, Secretary, Department of Zoology, Kyoto University, Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan. All manuscripts for publication should be sent to T. Hidaka, Editor, Department of Zoology, Kyoto University, Sakyo-ku, Kyoto 606, Japan.

## 日本動物行動学会

### 第2回大会案内

日本動物行動学会第2回大会は、第1回（設立）大会にひきつづき京都大学において下記の要領で開催されることになりました。ふるって御参加下さい。

**1. 日 時** 1983年12月9日(金)～11日(日)

**2. 会 場** 京都大学 理学部

#### 3. 日 程

12月9日(金) 午後からの予定  
 ポスター発表、フィルムースライド・セッション  
 ラウンド・テーブル  
 12月10日(土)  
 ポスター発表、フィルムースライド・セッション  
 総会、懇親会  
 12月11日(日)  
 ポスター発表、フィルムースライド・セッショ  
 ナン、ラウンド・テーブル  
 (最終的な日程は申し込み締め切り後に確定します。)

**4. 形 式** 今回も前回とほぼ同様に、次の形式で行います。

#### (1)一般発表

すべてポスター形式で行います。ポスターの作り方はP.9を参照して下さい。

#### (2)フィルムースライド・セッション

動物の行動に関する興味深いフィルムやスライドを紹介するセッションです。一人でポスター発表と両方行なっても結構です。ただし、スライド・セッションは他の学会の一般講演のような、調査や実験のデータを発表するものではありませんので御注意下さい。

#### (3)ラウンド・テーブル(小集会)

今回は特にラウンド・テーブルに力を入れたいと考えています。共通の興味や問題意識をもつ人たちが集って十分な討論が行なえるよう部屋をいくつか用意します。また時間も夜ではなく、他の発表と重ならない

ようにし、15:00 くらいから行なう予定です。ラウンド・テーブルを企画される方は参加申込用紙の欄に記入してお申し込み下さい。なお、下記のものがすでに予定されています。  
 「Human Ethologyその2」 新妻昭夫  
 「今、なぜ Ethology か？」 日高敏隆

#### 5. 参 加 費

|      |                      |
|------|----------------------|
| 大会費  | 1,500円(一般、学生、当日参加とも) |
| 懇親会費 | 一般会員 3,500円          |
|      | 学生会員 3,000円          |

10月21日以降の参加申し込みはともに500円増となります。

#### 6. 申込方法

参加、発表およびラウンド・テーブルの企画を希望される方は同封申込用紙に必要事項を記入し参加費を払い込んだ上、**10月20日(必着)**までに大会準備委員会宛お送り下さい。ポスター発表、フィルムースライド発表を希望される方は発表要旨(同封用紙に記入のこと)を参加申込書とともに大会準備委員会へお送り下さい。**(10月20日必着)**。

プログラムは11月20日頃全会員のお手許に届くようにするつもりです。大会参加費を払い込まれた方には同時に発表要旨集をお送りします。大会に参加されない会員の方には発表要旨集は希望により実費(1,000円)でお譲りすることになります。

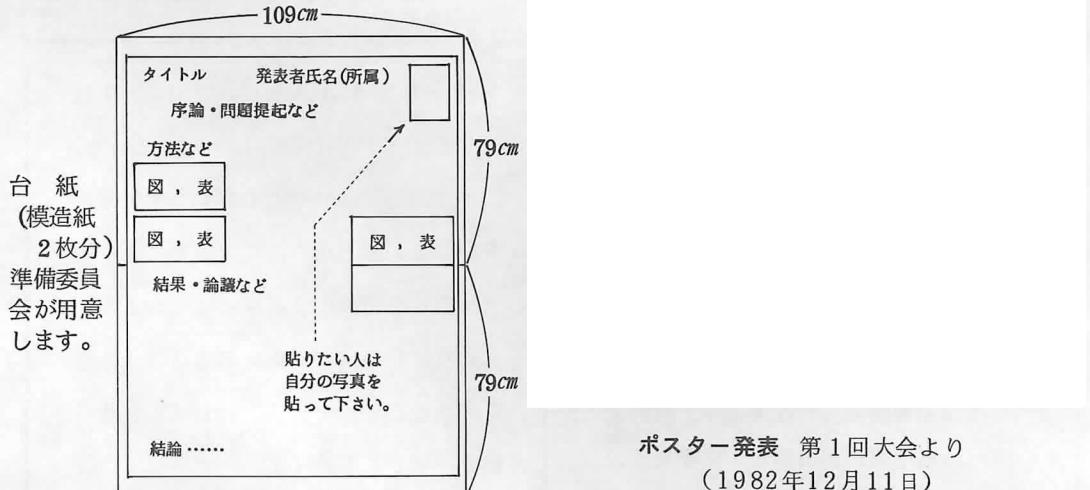
不明な点については下記に御連絡下さい。

〒606 京都市左京区北白川追分町  
 京都大学理学部動物学教室内  
 日本動物行動学会大会準備委員会  
 TEL 075(751) 2111 内線4073

## ポスター・セッションについて

ポスター・セッションは、発表者が自分の内容を“ポスター”に作って発表するセッションです。質問に応じて、どんどん討論を深めてゆけるメリットがあります。

“ポスター”は、模造紙横2枚の大きさの台紙に収まるようにデザインして下さい(図参照)。紙の色などは各自の好みで決めて下さい。内容のプレゼンテーションも、好みに任せます。見易く、わかりやすいことが要点です。あまり小さい字は好ましくありません(タイプ打ちした論文原稿をそのまま貼ったものは、とても読めません)。図、表、写真などは適宜配置して下さい。レイアウトも工夫して下さい。



## 共済組合関係宿泊所

| 宿泊所           | 住所                       | 所          | TEL  |
|---------------|--------------------------|------------|------|
| くに荘 〒602      | 京都市上京区河原町荒神口上ル東入ル東桜町27の3 | 222-0092   | 075- |
| 平安寮 〒602      | 京都市上京区烏丸通長者町上ル籠前町598の1   | 451-0811   |      |
| 京都堀川会館 〒602   | 京都市上京区東堀川通下長者町下ル7        | 432-6161   |      |
| 共済会館 〒602     | 京都市上京区葭屋町通一条上ル明町8-19-3   | 441-8188   |      |
| 御車会館 〒602     | 京都市上京区河原町今出川南入一筋目東入      | 211-5626~8 |      |
| 平安房 〒605      | 京都市東山区正面茶屋町531           | 561-8666   |      |
| 加茂川荘 〒604     | 京都市中京区富小路通り夷川上ル          | 231-3754   |      |
| 洛陽荘 〒606      | 京都市左京区岡崎法勝寺町77           | 771-5634   |      |
| 花のいえ 〒616     | 京都市右京区嵯峨天竜寺角倉町9          | 861-1545   |      |
| 京都農林年金会館 〒603 | 京都市北区衣笠北天神森町21           | 462-7745~9 |      |

## 会員の異動 [有権者名簿(1982年12月12日)以降]

### 新入会員

小川均、有元貴文、井上実、斎藤裕  
 斎藤幸広、西尾規孝、平松山治、伊藤みゆき、佐藤有恒、荻野哲男、長谷川洋、細井孝昭、宮内恵理子、秋山廣光、中村博幸、秋尾保子、兼島孝、新達也、松浦寿郎、伊藤勝敏、広瀬義躬、田中章、中川研児、武子裕美、小川巖、八木宗親、梶山弘幸、長谷川英一、金野仁、巽俊彰、高山法子、稻垣美佳、和田恵次、松井進、中川努、本庶正一、南澤武、中西敬次、大川夏子、三島敏夫、田中智夫、阿江茂、増田顕一、松沢安夫、青木自由治、中尾健三、岡野真由美、尾崎茂実、大川けい子、森本尚武、上田一夫、王賀理恵、細田徹治、菅原和孝、培風館、福留高明、若林保司、谷本忠司、中澤雅樹、山本賢介、坂上昭一、越智典子、小林毅、五嶋聖治、赤塚勝敏、久次米康子、牧野俊一、田中寛、前田勝也、立澤史郎、河部淳、駒井享、岡田愛子、西村武

司、佐藤武、Jack T. Moyer  
 Martha J. Zaiser 久保田行則、  
 (入会順)

### 退会 松永一郎

### 会員現況 (3月20日現在) P.3 よりの続き

|      | (国内) | (国外) | (合計) |
|------|------|------|------|
| 一般会員 | 321  | 1    | 322  |
| 学生会員 | 186  | 0    | 186  |
| 団体会員 | 4    | 0    | 4    |
| 計    | 511  | 1    | 512  |

タイトルのイラストは、コロニー生活をする地リスの1種 *Spermophilus beldingi* の雌が敵の接近を察知して警戒声を発しているところ。この行為により彼女は自らを危険にさらすことになるが、まわりにいる彼女の血縁の個体の生存度を高めることができる。いわゆる利他行動の一種である。(J)